

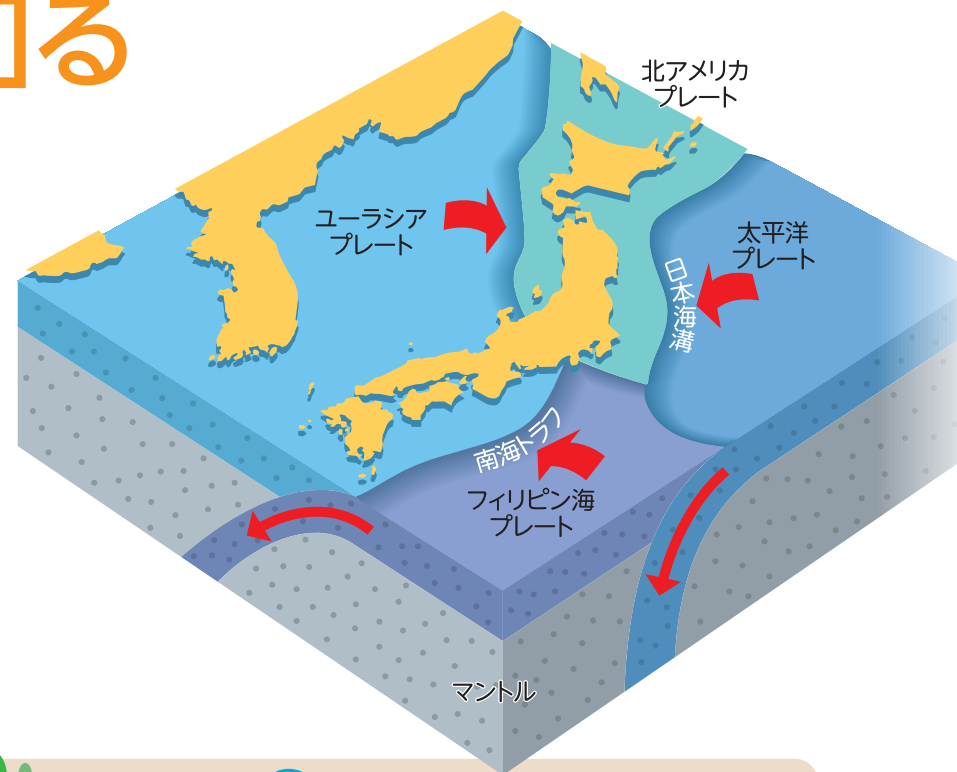


地震への備え

①「災害」を知る

日本列島周辺では、陸側のプレート（板状の岩盤）の下に太平洋プレートとフィリピン海プレートの2つの海側のプレートが沈み込んでいます。このプレート運動により、プレート境界やその内部に蓄積されたひずみを解消するために日本列島とその周辺では、多くの地震が発生します。

地震は、その発生場所により「海溝型地震」と「活断層型地震」に大きく分けられます。



小牧市では、これらの地震の中から最大規模の2つの地震について被害想定を行っています。



今日や明日にでも起こるかもしれないと言われている地震

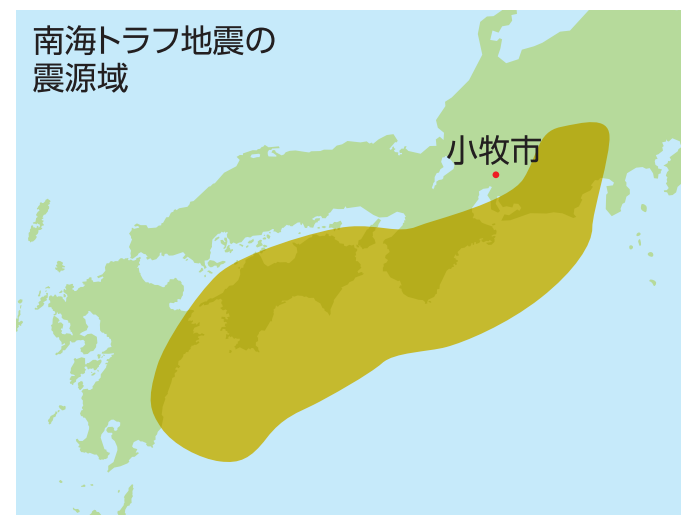
海溝型地震 南海トラフ地震（市内最大想定震度6弱）

南海トラフ地震の概要

南海トラフの一带が同時に動いた場合に発生する地震です。

想定濃尾地震より被害は小さいもののライフライン被害などが予想されます。

- 想定根拠：平成23年度～25年度
愛知県東海地震・
東南海地震・南海地震等
被害予想調査
- 地震規模：マグニチュード9.0

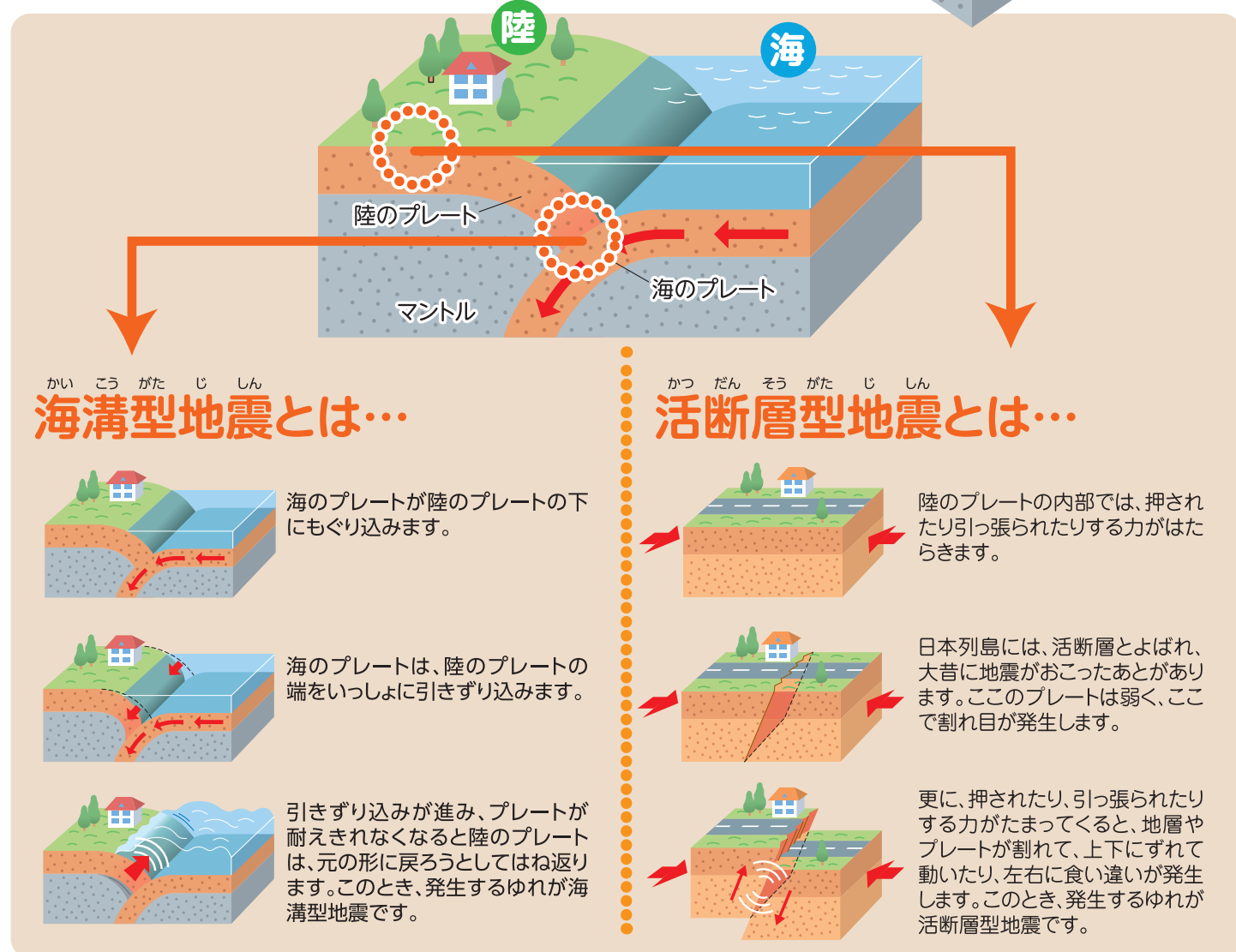


活断層型地震 想定濃尾地震（市内最大想定震度6強）

想定濃尾地震の概要

濃尾地震（明治24年）の再来を想定した地震で、建物被害や人的被害など、小牧市全域に大きな影響を及ぼすと予想されます。

- 震源断層：福井県東部～岐阜県美濃地方中濃地域（温見断層（北西部）、根尾谷断層帯、梅原断層帯が連なったもの）
※国（地震調査研究推進本部）の研究結果などにに基づき設定
- 地震規模：マグニチュード8.0



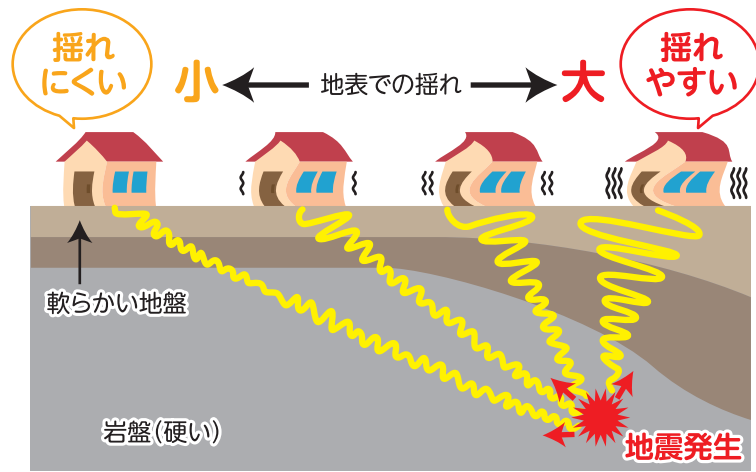
2「まち」を知る

地震防災マップの見方(震度と想定される状況)

揺れやすさとは

地震の揺れの大きさを表す震度は、震源からの距離や地盤の状況に影響されるため、場所によって異なります。

- 震源から地表付近までの距離が近いほど揺れは大きくなる。
- 硬い岩盤では揺れにくく、軟らかい地盤では揺れやすい。



震度と想定される状況

震度5弱

- 大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。

震度5強

- 物につかまらなと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や書棚の本の多くが落ちる。

震度6弱

- 立っているのが困難になる。
- 多くの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。

震度6強

- はわないと動くことができない。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れる物が多くなる。
- 耐震性の低い家屋は傾く、若しくは倒壊する恐れがある。

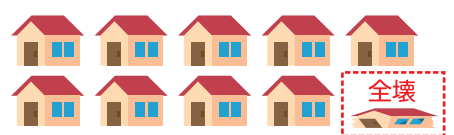
全壊とは

住家全部が倒壊、流出、埋没、焼失したもの、または住家の損壊が甚だしく、補修により元通りに再使用することが困難なもので、具体的には、住家の損壊、焼失若しくは流失した部分の床面積がその住家の延床面積の70%以上に達した程度のもの、または住家の主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が50%以上に達した程度のもの。



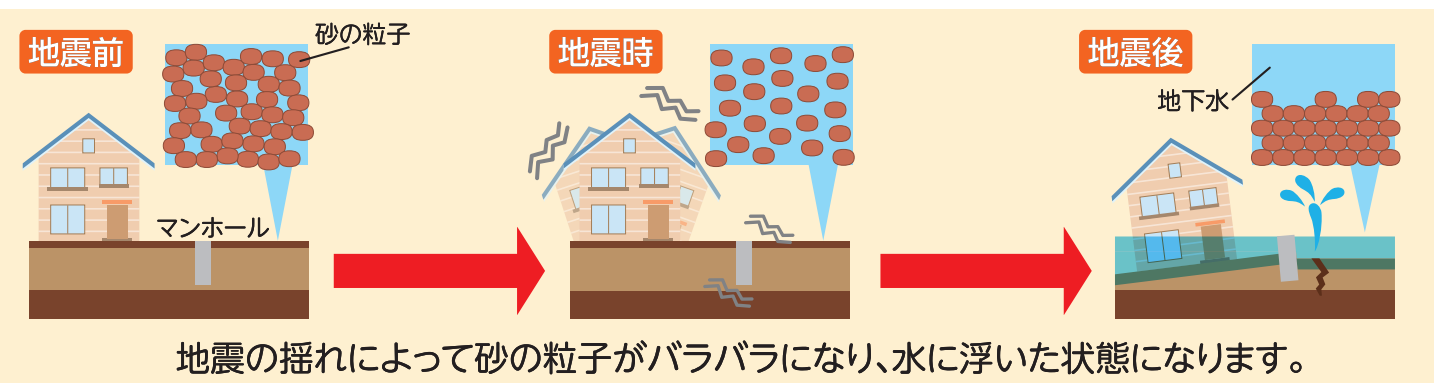
全壊率とは

全壊率10%とは、10棟のうち1棟が全壊することを示します。ただし残りの9棟も全壊にはいたらないものの被害を受ける可能性があります。



液状化現象とは

液状化現象とは、地震の際に地下水位の高い砂地盤が振動により液体状になる現象のことです。これにより比重の大きい構造物が埋もれ、倒れたり、地中の比重の小さい構造物(下水管など)が浮き上がったりします。



液状化しやすさマップ

下の図は、「想定濃尾地震」が発生した場合における液状化現象の起こりやすさを示した地図です。



私の家のチェックリスト

私の住んでいる家(職場・学校)は…

南海トラフ地震では、震度		建物倒壊率は		%～		%
想定濃尾地震では、震度		建物倒壊率は		%～		%

地震防災マップで、自宅や職場の状況を確認してみよう

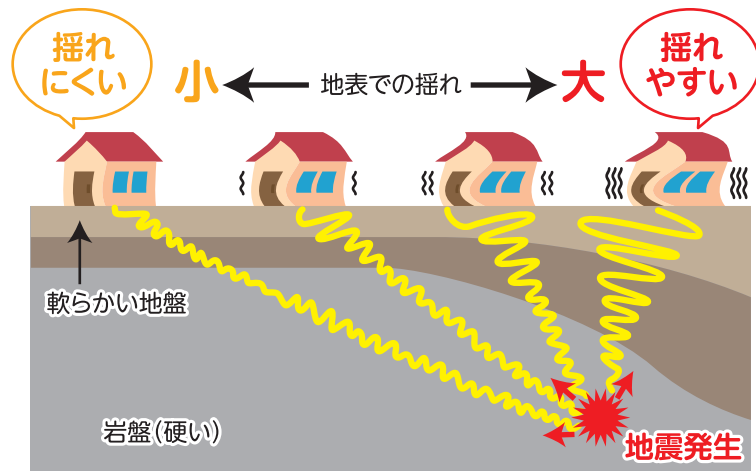
2「まち」を知る

地震防災マップの見方(震度と想定される状況)

揺れやすさとは

地震の揺れの大きさを表す震度は、震源からの距離や地盤の状況に影響されるため、場所によって異なります。

- 震源から地表付近までの距離が近いほど揺れは大きくなる。
- 硬い岩盤では揺れにくく、軟らかい地盤では揺れやすい。



震度と想定される状況

震度5弱

- 大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。

震度5強

- 物につかまらなと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や書棚の本の多くが落ちる。

震度6弱

- 立っているのが困難になる。
- 多くの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。

震度6強

- はわないと動くことができない。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れる物が多くなる。
- 耐震性の低い家屋は傾く、若しくは倒壊する恐れがある。

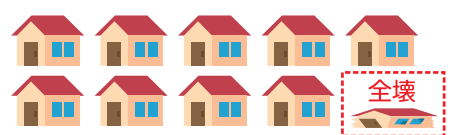
全壊とは

住家全部が倒壊、流出、埋没、焼失したもの、または住家の損壊が甚だしく、補修により元通りに再使用することが困難なもので、具体的には、住家の損壊、焼失若しくは流失した部分の床面積がその住家の延床面積の70%以上に達した程度のもの、または住家の主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が50%以上に達した程度のもの。



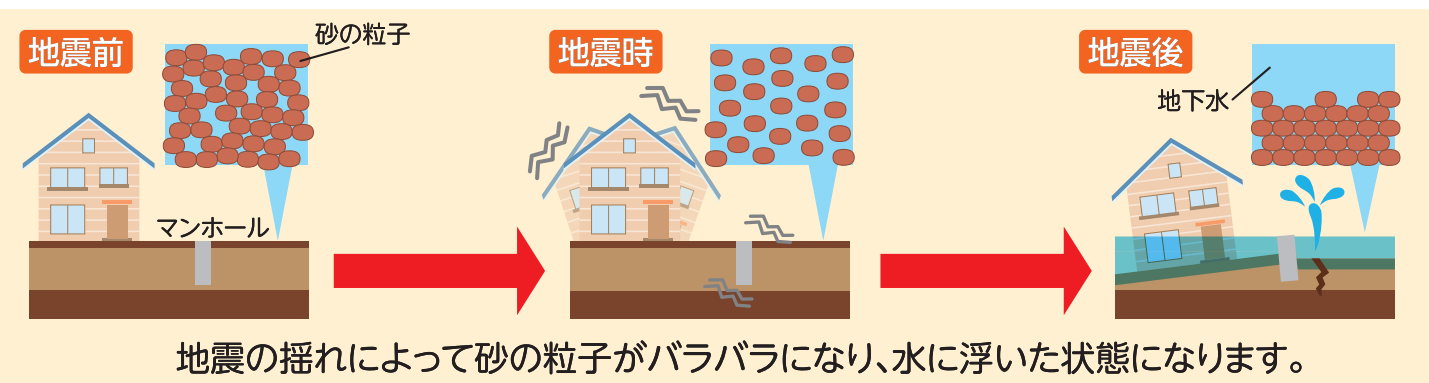
全壊率とは

全壊率10%とは、10棟のうち1棟が全壊することを示します。ただし残りの9棟も全壊にはいたらないものの被害を受ける可能性があります。



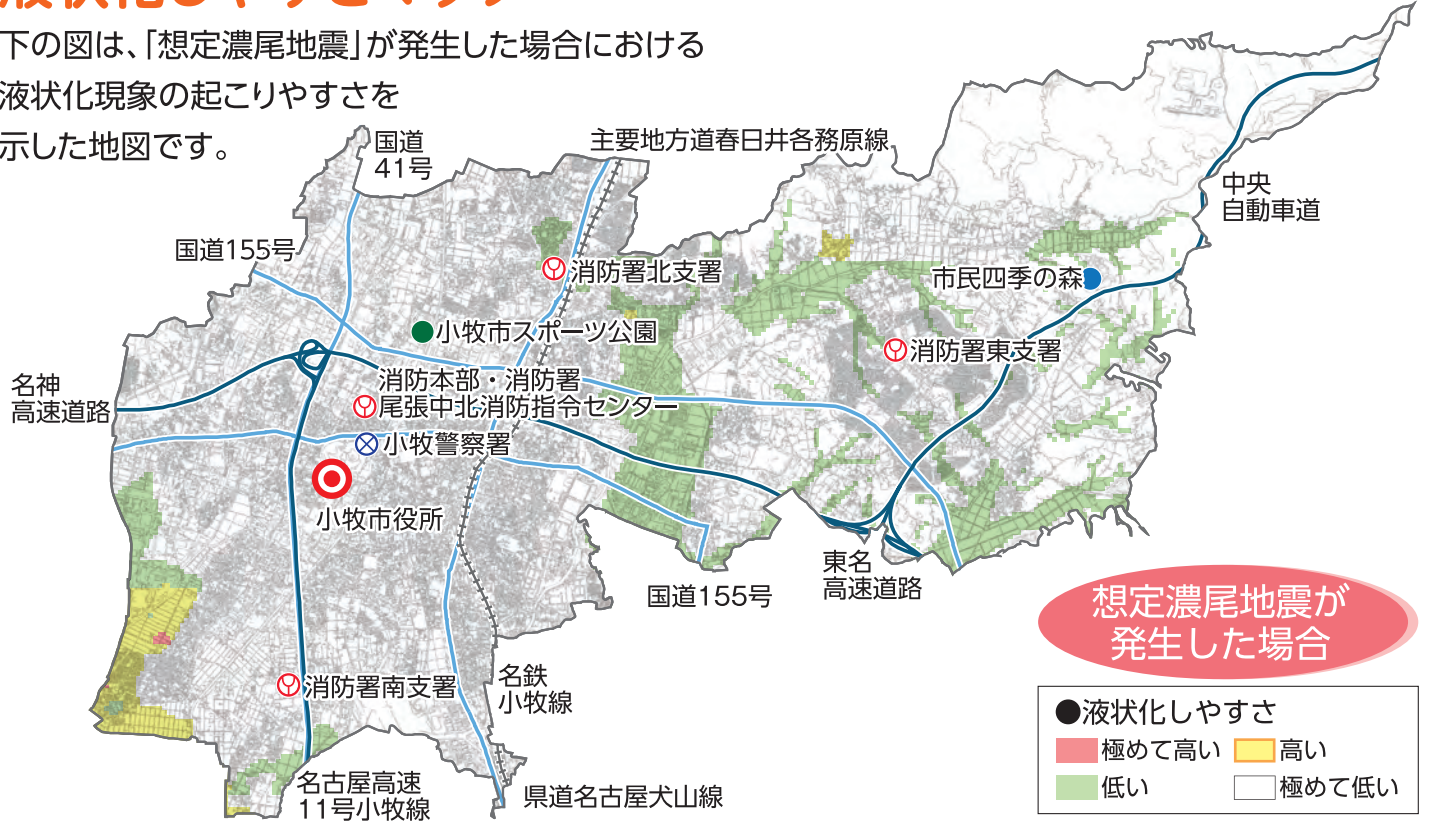
液状化現象とは

液状化現象とは、地震の際に地下水位の高い砂地盤が振動により液体状になる現象のことです。これにより比重の大きい構造物が埋もれ、倒れたり、地中の比重の小さい構造物(下水管など)が浮き上がったりします。



液状化しやすさマップ

下の図は、「想定濃尾地震」が発生した場合における液状化現象の起こりやすさを示した地図です。



私の家のチェックリスト

私の住んでいる家(職場・学校)は…

南海トラフ地震では、震度		建物倒壊率は		%～		%
想定濃尾地震では、震度		建物倒壊率は		%～		%

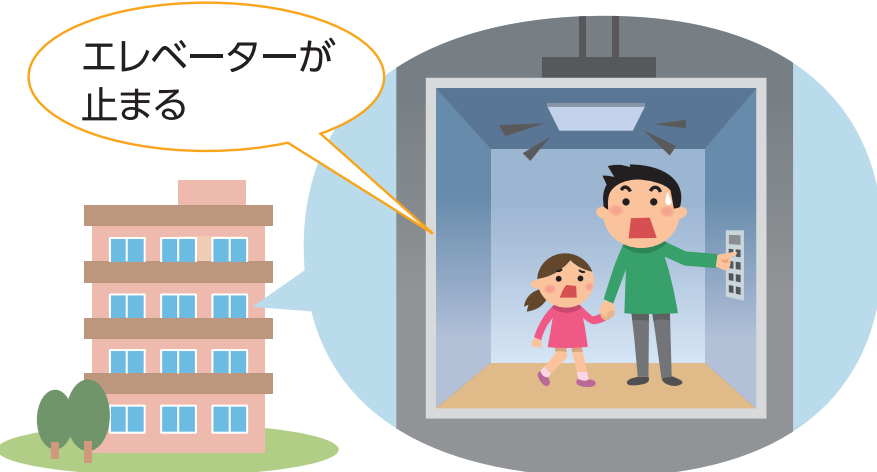
地震防災マップで、自宅や職場の状況を確認してみよう

3イメージする

自宅では・・・

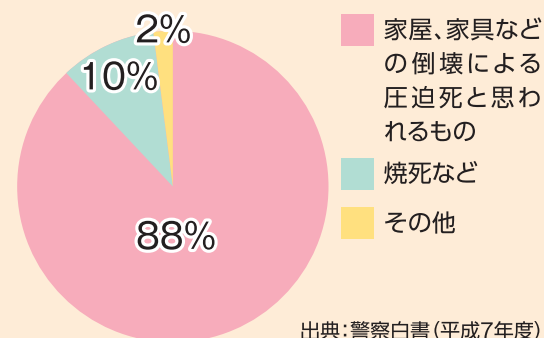


エレベーターでは・・・



阪神・淡路大震災における死亡原因

阪神・淡路大震災では、犠牲者の約9割が家屋の倒壊や家具の転倒などが原因で亡くなっています。



まちなか・通学路では・・・



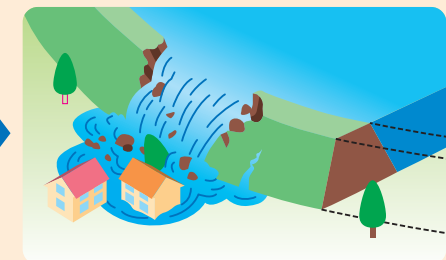
地震の後や大雨の時はため池の決壊に注意しましょう!!

ため池決壊の起こり方

地震・大雨



大雨による増水、大地震等で堤防に亀裂、漏水が発生!



破損した堤防が貯水に耐えきれず決壊!

ため池決壊の恐れがあるときは少しでも安全な場所へ速やかに避難しましょう。

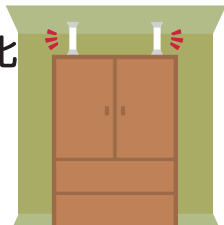
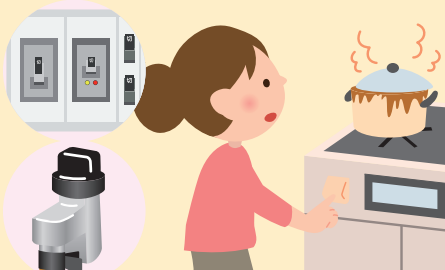
ため池ハザードマップの問合せ先 農政課 TEL 0568-76-1133

海沿いでは津波にも注意が必要!!

津波は、押し寄せる速度が速いため、津波がやってくるのを見てからでは避難が間に合いません。海の近くで大きな地震に遭ったら津波にも注意し、高台などへ避難するようにしましょう。

4 対策する マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは住民一人ひとりの防災行動計画で、災害時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、命を守るための一助とするものです。
ハザードマップを用いて、様々な災害リスクを知り、どういうタイミングでどのような防災行動をとれば良いのかを家族と一緒に考えてみましょう。

日頃から - 家具の固定 - 飛び出し防止対策 (12ページ参照) - ガラス飛散防止対策 - 非常持出袋の準備 (31ページ参照) できれば - 住宅の耐震化 - 地震保険への加入 	緊急地震速報～揺れている間 - 身の安全を確保 - 慌てて外へ飛び出さない 屋外にいるときは - 落下物に注意 - 運転中は車を路肩に寄せて停車 	揺れがおさまったら(地震後数分) - 火の元の確認 - ガスの元栓を閉じる - 初期消火 - 電気ブレーカーをおとす - 脱出口の確保 	地震後5分 - 靴・スリッパをはく - 非常持出袋を持ち出す - 家族の安全確保 	地震後10分 隣近所の安全確認 	地震後数十分 協力して救出・救護 	地震後数時間 - 自宅の被害状況確認 - 被害状況に応じて避難 
「いつ」「だれが」「何をするのか」 マイ・タイムラインを作ってみよう あらかじめ時系列で整理した自分自身の避難行動計画(マイ・タイムライン)を作っておきましょう。	例) 安全な部屋に避難する。間に合わない場合は机の下に避難する。 身の安全を確保	例) 火の元を確認する。出口を確保する。 被害の拡大の防止	例) 家の中が安全か確認する。避難のための準備をする。 避難の準備	例) 家の戸締りをする。家の近くの様子を確認する。 助け合って救出・救護	例) 近所で困っている人がいたら救助や応急処置をする。	例) 被害状況を確認する。

地震時の心得10ヶ条

① 枕元に避難グッズ

厚手の靴下やスリッパ、懐中電灯などを準備しておく。



② 足元に注意

割れた窓ガラスや照明器具の破片に気をつける。



③ 運転中

路肩に停車し、連絡先を見えるところに貼り、徒歩で避難する。



④ スーパー・デパートでは

ショーケースなど割れやすいものから離れる。



⑤ 海岸で

津波などの発生を想定して、安全な高台や避難地を目指す。



⑥ 狭い路地やブロック塀には要注意

ブロック塀や自動販売機は転倒の恐れがある。



⑦ 協力し合って応急救援

地域ぐるみで協力し合って応急救援の体制を構築する。



⑧ 山崩れ、がけ崩れに注意

居住地の自然環境を把握して二次災害防止の心がけを。



⑨ 避難は徒歩で

マイカーでの避難は危険なうえ緊急車両の障害になりうる。ルールを守る心のゆとりをもつ。



⑩ 正しい情報を聞く

事実のひとつ。間違った情報にまどわされず的確な行動をする。



避難時の注意事項

- むやみに動かない
- 余震に注意する
- 垂れ下がった電線に触らない
- 落下物に注意する
- エレベータは使用しない



4 対策する

事前の備え

家具の固定や飛散防止など

- 家具を固定しておく(ネジ止めが効果的)
- 重いものを棚や家具の上段に置かない
- 家族が長時間過ごす部屋には背の高い家具を置かない
- 玄関や廊下・出入口に家具を置かない
- ガラス飛散防止フィルムを貼る



耐震化や家具の固定は今すぐできないけど…今できること

- 緊急地震速報が来たら逃げ込む部屋・場所を決めておく(壁や柱が多い部屋や背の高い家具を置いていない部屋、丈夫な机の下等)
- 外にいるときに時々「今地震が起きたら」を想像してみる

木造住宅の無料耐震診断について

小牧市では、平成14年度から市・県の連携により民間木造住宅耐震事業を進めています。昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅が対象で、無料で耐震診断が受けられます。



耐震改修事業について

小牧市では愛知県と連携して、耐震診断を受けられた木造住宅で「倒壊する可能性が高い」(判定値0.7未満)、「倒壊する可能性がある」(判定値0.7以上1.0未満)と診断された木造住宅を、耐震改修・除却・耐震シェルター等設置する場合に補助金制度を設けています。



ブロック塀等除去について

小牧市では地震等によりブロック塀等の倒壊による人的被害の防止及び避難経路の確保を図ることを目的に、ブロック塀等の撤去に関する補助制度を設けています。



相談窓口
建築課 TEL 0568-76-1142

昭和56年5月31日以前の
木造住宅にお住まいの方、
まずは無料耐震診断を受けてみましょう。
詳しくは、市ホームページをご覧ください。

電話やSNSが通じなくなり、連絡が取れなくなった場合も想定して避難先を決めておきましょう。

家族の避難先・避難経路(平日・日中)

名 前	避難先	避難経路上に危険箇所がないかチェック
例) お父さん お母さん 子ども	会社近くの〇〇避難所 自宅近くの△△避難所 □□小学校	☐ ブロック塀などの倒れそうなものがないか ☐ 狭い道や住宅密集地は避ける

小さなお子さんがあるお宅では…

それぞれの家庭の状況に応じた災害時の対応を考え、子どもに言い聞かせておくようにしましょう。
通学や習い事への移動中に地震が起きることも想定して、通学路等での危険を子どもと一緒に確認しましょう。

平成30年 大阪北部地震の事例

平成30年大阪北部地震では、登校中の小学生が倒れてきたブロック塀の下敷きになって死亡する被害が発生しました。地震は家にいるときに起きるとは限りません。お子さんと一緒に通学路やよく通る道の危険な場所などを確認し、いざという時どうすれば良いか話しあっておくようにしましょう。

家族の避難先・避難経路(休日・夜間など)

名 前	避難先	避難経路上に危険箇所がないかチェック
例) お父さん お母さん 子ども	自宅近くの□□避難所 自宅近くの□□避難所 自宅近くの□□避難所	☐ ブロック塀などの倒れそうなものがないか ☐ 狭い道や住宅密集地は避ける

非常持ち出し袋の保管場所	
--------------	--

自宅の安全が確保できている場合は在宅避難も視野に入れて事前の備えをしましょう。
➡避難の基本は26～34ページ参照